

【南島原市】
校務D X計画

1. 教職員の働き方改革の推進

I C Tを活用した業務改善から、学校における校務の負担軽減や長時間労働の改善により、教師の時間的・心理的余裕を、授業改善や児童生徒と向き合う時間の増加につなげていくことで魅力ある学校づくりを進めていく。教職員の「働きがい」の推進にも繋げる。

2. 統合型校務支援システム「C 4 t h」の積極的活用

本市で導入している統合型校務支援システム「C 4 t h」をさらに活用を進めていく。現在、既に公簿のデジタル化・デジタル承認（指導要録・出席簿・健康診断票・学校日誌・保健日誌）に加え、下記の内容について更に推進する。

- (1) 通知表についてC 4 t hでの作成を行うよう推進する。
- (2) 児童生徒の進学・転学について県内のほとんどの市町間との文書の送受をC 4 t hで実施する。
- (3) スケジュール管理・職員会議等の資料についてもC 4 t hを活用することで、ペーパーレス化を推進する。
- (4) ペーパーレス化を推進するために、原則、押印による承認を廃止していく。
- (5) 職員勤務報告等についてC 4 t h出退勤の管理による方法を検討していく。

※F A Xの使用については、外部団体とのやり取りが現在も続いており、課題である。今後関係機関等への対応が必要となる。

3. ロケーションフリーのフルクラウドサービスへ移行

現在の統合型校務支援システムは、独立したネットワークを構成し、外部と遮断されている状況であり、スクールネットワークとの統合をしていない。

そのため、それぞれの校務P C及び教師用端末ごとにログインをする必要があり、校務D X化を推進する上で課題となっている。

次世代の校務支援システムの導入に向け、県全体での共同調達等の視点をもち、ネットワーク構成の統合を目指していく。特定のサーバーや端末、使用する

場所に依存しないロケーションフリーのフルクラウドサービスへの移行やゼロトラストセキュリティの導入を視野に入れていく。これにより、在宅勤務や学校外での研修等、必要に応じて、多様な働き方を実現することが可能となる。

このようなネットワーク構築を進めることで、新たに本市でGoogle Workspaceの機能等の活用が、校務支援システムと同一の端末で簡単にできるようになる。

教職員同士の情報共有、職員朝会、職員会議等について、オンライン上で実施したり、紙による文書配付・回覧等を廃止することも可能となる。

また、即時に最新の情報を全員で共有でき、効率よく伝達できるようになる。伝達漏れ等もなくなり、教員間のコミュニケーションの幅が広がる。

さらに、保護者への通信等の配付、安心安全メール等の連絡アプリ、教材費のオンライン回収等、すでに存在している様々なWEBサービスが安全に利用できる利点もあり、校務DXを加速化していくことができる。

4. 教育情報セキュリティポリシーの策定

ロケーションフリーのフルクラウドサービスへの移行やゼロトラストセキュリティの実現するためには、全市的な教育情報セキュリティポリシーの策定が新たに求められる。

今後、必要なセキュリティ対策を講じた上で、クラウド上のデータやサービスを活用することを前提としたネットワークの構築を目指す。